



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クラレ

コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 IR・広報部長

(氏名) 島本 智之

TEL 03-6701-1071

四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	88,523	△1.6	11,698	△26.0	10,590	△31.9	5,822	△37.7
24年3月期第1四半期	89,921	2.5	15,815	26.2	15,554	29.8	9,341	63.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 12,420百万円 (△13.2%) 24年3月期第1四半期 14,309百万円 (605.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	16.71	16.69
24年3月期第1四半期	26.82	26.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	555,242	373,079	66.0
24年3月期	523,247	366,314	68.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 366,622百万円 24年3月期 360,018百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	2.4	25,000	△14.9	24,000	△17.2	14,000	△18.7	40.17
通期	400,000	8.4	60,000	9.6	58,500	8.5	35,000	11.2	100.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	382,863,603 株	24年3月期	382,863,603 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	34,318,003 株	24年3月期	34,506,810 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	348,434,484 株	24年3月期1Q	348,267,754 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 企業結合等関係 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における経営環境は、金融危機を背景とする欧州経済の停滞、中国をはじめとする新興国経済の成長ペース鈍化により、全体的に需要に力強さを欠く状況が続きました。国内においても急激な円高進行により、厳しい状況が続きました。

このような状況下においても、当社グループは、今年度よりスタートさせた新中期経営計画『GS-III』において掲げた持続的な成長を実現させるため、技術革新を通じた新たな製品・用途開発を加速させるとともに、成長余地のある市場・分野での事業の拡大に注力しています。

当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高は前年同期比1,397百万円（1.6%）減の88,523百万円、営業利益は4,116百万円（26.0%）減の11,698百万円、経常利益は4,964百万円（31.9%）減の10,590百万円、四半期純利益は3,518百万円（37.7%）減の5,822百万円と減収減益となりました。

#### セグメント別の状況

##### [樹脂]

欧州を中心とする世界的な景気減速による影響を受け、売上高は37,097百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は11,913百万円（同15.4%減）となりました。

①ポバール樹脂、PVBフィルムは、世界的な景気減速を背景に需要が低迷しました。光学用ポバールフィルムは液晶パネルの在庫調整が続いたため、伸び悩みました。

なお、当事業の拡大戦略の一環として、以下の施策を実行しました。

- 1) 米国における洗剤・農薬包装等、産業用ポバールフィルムのリーディングカンパニーであるMonoSol社を買収。
- 2) ポバール樹脂の世界的需要拡大に対応するための米国テキサス州における生産設備新設（年産40,000トン、平成26年9月完工予定）を決定。

②EVOH樹脂<エバル>は、食品包装用途が世界的な景況悪化の影響を受けましたが、自動車用途は堅調に推移しました。

##### [化学品]

需要については総じて堅調に推移しましたが、一部事業で市況悪化および円高の影響を受けました。その結果、売上高は19,900百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は1,154百万円（同54.5%減）となりました。

①メタクリル樹脂は、導光板向け成形材料の出荷は回復傾向にあり、販売数量が拡大しましたが、全般に市況悪化の影響を受けました。

②熱可塑性エラストマー<セプトン>は、北米を中心に需要が回復に向かい、販売数量が増加しました。ファインケミカルは国内・アジアを中心に高付加価値品の販売が拡大しました。

③耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、コネクタ用途、液晶向けLED反射板用途、自動車用途等、いずれも順調に拡大しました。

④メディカルは、国内外ともに歯科材料の出荷が堅調に推移しました。また、クラレメディカル株式会社、株式会社ノリタケデンタルサプライおよびクラレノリタケデンタルホールディングス株式会社の3社が4月1日をもって統合し、クラレノリタケデンタル株式会社として一体運営を開始しました。

##### [繊維]

一部事業で景況悪化の影響を受け、売上高は12,860百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は494百万円（同14.8%減）となりました。

①ビニロンは、一次電池セパレータ用途、自動車用ブレーキホース用途の需要が堅調に推移しましたが、アスベスト代替のFRC（繊維補強セメント）用途の需要が欧州市場低迷の影響を受けました。

②人工皮革<クラリーノ>は、ランドセル等は堅調に推移しましたが、靴用途の需要が低調でした。なお、当事業は環境対応型の新プロセスへの集約を推進しており、構造改善を進めています。

③不織布<クラフレックス>は、産業用途を中心に堅調に推移しました。面ファスナー<マジックテープ>は、震災復興関連の需要が増加し、順調に推移しました。

## 〔トレーディング〕

ポリエステルをはじめとする繊維関連事業は堅調に推移しましたが、液晶関連部材の輸出販売が伸び悩みました。その結果、売上高は26,813百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は754百万円（同10.3%減）となりました。

## 〔その他〕

活性炭は、キャパシタ用途は堅調でしたが、浄水用途の需要については低調に推移しました。活性炭以外の事業についても一部で景況悪化の影響を受けました。その結果、売上高は14,850百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は1,011百万円（同36.1%減）となりました。なお、アクア事業では、バラスト水管理システム<マイクロフェード>の販売活動を本格的に開始しました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

金融危機を背景とする欧州を中心とした世界的な景気減速を踏まえ、当第2四半期連結累計期間について、下表のとおり連結業績予想を修正します。なお、通期の連結業績予想については、当社製品の需要が拡大基調にあることなどから、年初予想値を変更していません。

## 平成25年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(平成24年 4 月 1 日～平成24年 9 月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成24年 4 月26日)	190,000	27,500	26,500	16,000	45.93
今回修正予想	190,000	25,000	24,000	14,000	40.17

## &lt;ご参考&gt;平成25年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間セグメント別業績予想数値

(単位：億円)

	売上高	営業利益
樹脂	815	250
化学品	410	30
繊維	290	5
トレーディング	570	15
その他	320	30
調整額	△505	△80
合計	1,900	250

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,464	30,030
受取手形及び売掛金	80,627	77,490
有価証券	71,995	65,979
商品及び製品	50,361	54,910
仕掛品	9,528	9,588
原材料及び貯蔵品	14,542	14,388
繰延税金資産	5,560	4,306
その他	5,783	6,977
貸倒引当金	△781	△707
流動資産合計	269,083	262,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,536	35,879
機械装置及び運搬具（純額）	71,578	75,260
土地	19,971	20,308
建設仮勘定	23,060	28,148
その他（純額）	3,730	3,850
有形固定資産合計	152,877	163,447
無形固定資産		
のれん	11,538	39,954
その他	2,465	3,415
無形固定資産合計	14,004	43,369
投資その他の資産		
投資有価証券	70,029	68,492
長期貸付金	572	586
繰延税金資産	4,688	4,640
前払年金費用	5,822	5,700
その他	6,262	6,132
貸倒引当金	△93	△91
投資その他の資産合計	87,282	85,460
固定資産合計	254,163	292,277
資産合計	523,247	555,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,945	28,530
短期借入金	13,781	9,252
コマーシャル・ペーパー	—	33,000
未払法人税等	9,075	2,276
賞与引当金	6,657	4,175
災害損失引当金	68	16
その他の引当金	59	29
その他	19,095	26,455
流動負債合計	81,684	103,736
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	41,981	42,159
繰延税金負債	4,531	5,712
退職給付引当金	5,617	6,221
役員退職慰労引当金	194	147
環境対策引当金	1,106	1,106
資産除去債務	2,224	2,280
その他	9,593	10,799
固定負債合計	75,248	78,427
負債合計	156,933	182,163
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	246,733	246,592
自己株式	△40,732	△40,510
株主資本合計	382,103	382,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,763	2,510
繰延ヘッジ損益	△32	△54
為替換算調整勘定	△24,419	△17,599
年金負債調整額	△396	△419
その他の包括利益累計額合計	△22,084	△15,562
新株予約権	1,151	1,261
少数株主持分	5,143	5,195
純資産合計	366,314	373,079
負債純資産合計	523,247	555,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	89,921	88,523
売上原価	57,806	59,710
売上総利益	32,115	28,812
販売費及び一般管理費		
販売費	4,414	4,376
一般管理費	11,885	12,738
販売費及び一般管理費合計	16,299	17,114
営業利益	15,815	11,698
営業外収益		
受取利息	95	97
受取配当金	356	409
持分法による投資利益	45	30
その他	203	271
営業外収益合計	701	809
営業外費用		
支払利息	263	252
為替差損	93	758
その他	605	907
営業外費用合計	962	1,917
経常利益	15,554	10,590
特別利益		
持分変動利益	845	—
特別利益合計	845	—
特別損失		
買収関連費用	—	542
投資有価証券評価損	498	351
災害損失	910	—
災害損失引当金繰入額	60	—
減損損失	18	—
特別損失合計	1,487	894
税金等調整前四半期純利益	14,912	9,696
法人税、住民税及び事業税	3,806	2,335
法人税等調整額	1,608	1,461
法人税等合計	5,415	3,797
少数株主損益調整前四半期純利益	9,496	5,898
少数株主利益	155	76
四半期純利益	9,341	5,822

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,496	5,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309	△253
繰延ヘッジ損益	6	△22
為替換算調整勘定	4,501	6,819
年金負債調整額	△4	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	4,812	6,521
四半期包括利益	14,309	12,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,153	12,344
少数株主に係る四半期包括利益	155	75

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	30,522	11,588	9,924	28,072	80,107	9,813	89,921	—	89,921
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,343	7,409	4,109	931	20,792	5,002	25,795	△25,795	—
計	38,865	18,997	14,033	29,003	100,900	14,816	115,716	△25,795	89,921
セグメント利益	14,088	2,534	580	840	18,043	1,582	19,626	△3,810	15,815

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジンアリング事業等を含んでいます。  
 2. セグメント利益の調整額△3,810百万円には、セグメント間取引消去△121百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,689百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化学品」セグメントにおいて、歯科材料事業に係わる企業結合に伴い、当第1四半期連結累計期間にのれんが1,483百万円発生しています。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,721	12,631	9,218	25,926	77,497	11,025	88,523	—	88,523
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,376	7,268	3,642	886	19,173	3,824	22,998	△22,998	—
計	37,097	19,900	12,860	26,813	96,671	14,850	111,521	△22,998	88,523
セグメント利益	11,913	1,154	494	754	14,316	1,011	15,327	△3,628	11,698

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジンアリング事業等を含んでいます。  
 2. セグメント利益の調整額△3,628百万円には、セグメント間取引消去△8百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,620百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しています。その概要は以下のとおりです。

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるKuraray Holdings U.S.A., INC. がMONOSOL HOLDINGS, INC. の株式のすべてを取得したことにより、前連結会計年度末から「樹脂」セグメントの資産が増加しています。当該株式取得による増加額は37,837百万円(478,087千USD)です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「樹脂」セグメントにおいて、MonoSol社に係わる企業結合に伴い、当第1四半期連結累計期間にのれんが28,063百万円(353,841千USD)発生しています。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。これによる各セグメント利益に与える影響は軽微です。

(5) 企業結合等関係

取得による企業結合

当社の連結子会社であるKuraray Holdings U.S.A., Inc. (以下、KHU) は、米国のポパールフィルム製造・販売メーカーであるMONOSOL HOLDINGS, INC. およびその100%子会社3社(以下、MonoSol社)を買収することを決定し、同社の親会社であるMONOSOL HOLDCO, LLC と株式売買契約を平成24年5月12日に締結し、本契約に基づき平成24年6月26日に株式を取得しました。

MonoSol社は、洗剤・農薬・染料などの個包装、人工大理石離型用など産業用ポパールフィルムにおいてリーディングカンパニーの位置にあります。

本件の買収によって、当社グループはポパールフィルムに関し、液晶ディスプレイの基幹部材である偏光フィルム向けの光学分野だけではなく、広範な産業分野においてもグローバルリーダーとなることに加え、日本・米国・欧州・アジア各拠点の有機的な連携により“酢ビ・ポパール系事業”の世界市場における拡大・強化を一層加速させることを目的としています。

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った根拠

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	MONOSOL HOLDINGS, INC. およびその100%子会社3社
事業の内容	洗剤・農薬・染料などの個包装、人工大理石離型用など産業用ポパールフィルムの製造・販売

(2) 企業結合日

平成24年6月26日

(3) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(4) 結合後企業の名称

MONOSOL HOLDINGS, INC.

MONOSOL, LLC

MONOSOL AF, LTD

AQUAFILM LIMITED

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った根拠

KHUによる現金を対価とする株式取得であるため。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年6月30日をみなし取得日としているため、被取得企業の業績は当第1四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書に含まれていません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	393,559千USD
取得原価	393,559千USD

但し、売買契約に基づく運転資本等の変動による買収価額の調整を精査中であり、当第1四半期連結会計期間末においては、株式の取得原価は暫定の金額です。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

(1) 発生したのれん

353,841千USD

なお、のれんは取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(2) 発生原因

期待される将来の超過収益力によるものです。

(3) 償却方法及び償却期間

効果の及ぶ期間にわたり均等償却します。また、償却期間については、取得原価の配分等の結果を踏まえて確定します。